

# 伊豆ヶ岳山行報告

【山行日】2022年 12月 4(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 2,600円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原フ、石澤、小林、嶋田、鈴木ミ、津佐、福島、吉田、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P7:00 = 正丸駅  
P8:30/8:50 ~ 正丸峠分岐 9:10/9:15 ~ 伊豆ヶ岳  
10:30/10:40 ~ 古御岳 11:00 ~ 高畑山 11:40/12:15  
~ 天目指峠 13:00/13:10 ~ 子ノ権現 14:10/14:20  
~ 西吾野駅 14:50/15:35 = 岩舟支所 P17:30

伊豆ヶ岳に登りたいとリクエストがあり、正丸峠から縦走する計画を立てた。岩舟支所を7時に出発し、東北道から圏央道を走り狭山日高ICで降りる。飯能市街を抜け、国道289号線を秩父方面に向かい、正丸駅の有料駐車場に車を止める。



伊豆ヶ岳に登りたいとリクエストがあり、正丸峠から縦走する計画を立てた。岩舟支所を7時に出発し、東北道から圏央道を走り狭山日高ICで降りる。飯能市街を抜け、国道289号線を秩父方面に向かい、正丸駅の有料駐車場に車を止める。

あり、右に行くと長岩峠から名栗げんきプラザへの道、我々は左に伊豆ヶ岳に向かう。後ろの方から「右の道は今年4月の武川岳の時に通ったよね」との声が聞こえてきた。さらに沢沿いに登り、やがて沢から離れて右に急坂を登るようになる。しだいに傾斜が急になり、立ち木に張られたロープに掴まりながら登って行く。尾根に登り上がった所で小休止し、呼吸を整えて水分を補給する。ここから右に尾根を登り、急坂を登り切ると五輪山に出る。山頂は広く平坦でベンチが置かれ、山頂標識前で記念写真を撮る。ここから南に下ると鞍部に出て、男坂と女坂に分かれる。正面の男坂は崩落に寄り通行禁止になっており、右に女坂を登って行く。男坂を巻くように登って行き、左に急坂を登ると伊豆ヶ岳山頂に着く。山頂は西側が開け奥武蔵の山々が見渡せ、大きな山頂標識が立っている。

駐車場はすでに満車で、駐車スペース外の場所のころうじて2台止められた。出発の準備を整えたら駅前広場に移動し、トイレとストレッチを済ませて出発する。人気の山らしく、駅前広場は大勢の登山者が出発の準備をしていた。駅の入口から階段を下り、道路に出たら右へ線路下のガードをくぐって進む。集落内の車道を緩やかに登って行き、馬頭観音堂が建つ正丸峠分岐に着く。直進すると正丸峠に行くが、ここは左に沢沿いの道に入る。沢沿いの杉林の道を登ると分岐が



正面の男坂は崩落に寄り通行禁止になっており、右に女坂を登って行く。男坂を巻くように登って行き、左に急坂を登ると伊豆ヶ岳山頂に着く。山頂は西側が開け奥武蔵の山々が見渡せ、大きな山頂標識が立っている。

山頂標識の前で記念写真を撮り、少し先の岩場で休憩しリンゴやゼリーをいただいた。山頂から南側の急斜面を下って行くが、カエデの紅葉が残っていてとても綺麗だった。しかし自然林の登山道



は落ち葉が多く、滑らないよう慎重に下って行く。鞍部からゆるやかに登ると古御岳に着き、東屋とベンチが置かれている。古御岳からの下りも急傾斜で落ち葉が積もり、滑らぬ様ゆっくり下って行く。アップダウンを繰り返しながら稜線を進み、アセビの急坂を登ると高畑山に着く。いくつかのベンチを確保してランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープ等を作る。鶏のハムやブロッコリーのサラダ等も並び、豪華なランチをいただいた。高畑山から鉄塔脇を下り、中ノ沢ノ頭は左に巻道を進み

天目指峠に向かって稜線を進む。伐採用に付けられた道路を何箇所か横断し、尾根上を進むと天目指峠に着く。峠手前のベンチで休憩を取り、スイートポテトや菓子をいただき疲れた足を休める。



ここから下ると直ぐに林道に出て、地元のハンターが10名ほどで鹿狩りを行っていた。トラックの荷台に仕留めた鹿が載せられていて、自慢げに見せてくれた。林道からすぐに山道に入り、木の根が張り出した歩きづらい急斜面の尾根を登って行く。やがて右手に小さな社が現れると辛い登りは終わり、鳥居の下をくぐって竹寺への道を右に分ければ子ノ権現の境内へと入って行く。本殿脇の大きなワラジをお参りし、足腰が丈夫になるように願う。

ワラジの前で記念写真を撮ったら本殿を参拝し、トイレを済ませて西吾野駅へ向かう。道路に出て西吾野駅への分岐で皆さんと分かれ、我輩とF島さんが先行し西吾野駅から電車で正丸駅へ向かう。正丸駅まで行き、車を回収したら西吾野駅に向かい、皆さんを車に乗せて帰路につく。往路を戻り、東北道の羽生PAでトイレと買い物を済ませ、予定より30分遅れて岩舟支所に帰着した。

